

地域課題対応型EMSサービス実証事業のビジネスモデルの決定について

県では、エネルギー・マネジメント・システム（EMS）の導入を促進するため、EMSを活用して地域の住民のニーズに即したサービスを提供するビジネスモデルの公募を行っていましたが、この度、大井町金子地区において実施するビジネスモデルが決定したのでお知らせします。

1 応募の状況とビジネスモデルを実施する事業者

次の1者から応募があり、選考委員会での審査を経て、提案されたビジネスモデルを採択しました。

事業者名：シャープ株式会社（大阪市阿倍野区长池町2番2号）

【参考】補助事業の概要

ビジネスモデルの実施を支援するため、事業者に対し補助金を交付する予定です。

補助額：ビジネスモデルの実証に要する費用の1/3（上限800万円）

2 ビジネスモデルの概要

ビジネスモデルとして提案されたEMSサービスの概要は次のとおりです。

(1) EMSサービスの内容

「エネルギー管理サービス」

- ・シャープ(株)は、HEMSとタブレットを実証事業に参加する高齢者（以下、参加者と言います。）の住宅に設置します。
- ・参加者は、HEMSから得られるエアコンなど様々な電化製品ごとの日々の電力使用割合等をタブレットで確認できます。
- ・シャープ(株)は、クラウドに集められた電力の使用状況の情報を基に、節電のアドバイスをタブレットにメッセージで表示し、節電行動を促します。

「地域課題に即した生活支援サービス等」

「生活支援サービス（高齢者の見守り等）」

- ・シャープ(株)は、参加者のテレビに見守りサービスのシステムを設置します。
- ・参加者は、テレビを使用して毎日行う健康状態に関するアンケートの回答に協力します。
- ・シャープ(株)は、HEMSにより把握される住宅内の電力使用状況とテレビによる健康状態に関するアンケートの回答結果をとりまとめます。
- ・参加者の家族がシャープ(株)のとりまとめた情報を定期的にモニターすることにより、緩やかな見守りを行います。

「健康管理サービス」

- ・シャープ(株)は、参加者の住宅に設置したタブレットで健康管理のためのアプリケーションソフト（名称：「未病倶楽部」）を提供します。
- ・参加者は、そのアプリケーションソフトのメニューを選んで体温や血圧、服薬履歴等の情報を入力します。また、認知機能の向上に役立つことが期待されるゲームや体操のメニューを利用することで、楽しみながら健康維持に取り組むことができます。
- ・シャープ(株)は、参加者の体温や血圧の情報、ゲームの利用情報等を取りまとめます。
- ・参加者の家族がシャープ(株)のとりまとめた情報を定期的にモニターすることにより、日々の健康管理に役立てます。

(2) 参加者数
10人程度

(3) 実施時期（予定）

9月6日 県、シャープ株がビジネスモデルの住民説明会を開催
（住民説明会～）大井町が住民を対象に実証事業参加意向調査を実施
シャープ株と大井町が実証事業参加希望者対象の説明会を開催
11月～ シャープ株が実証事業に使用する機器を設置、参加者に使用方法等を説明
1月～3月 シャープ株がEMSサービスの実証を実施

なお、同様にEMSサービスの実施地域として選考した綾瀬市早川城山1丁目～5丁目（早川自治会）については、再公募の期間を7月31日（木）17時までとしています。

（問い合わせ先）
神奈川県産業労働局
エネルギー部スマートエネルギー課
課長 村上 電話 045-210-4130
スマート化グループ 城戸 電話 045-210-4115

実証事業イメージ図【エネルギー管理サービス】



クラウドサーバーに集められた電力の使用状況の情報を基に節電のアドバイスをタブレット上に、メッセージとして表示し、節電行動を促します。

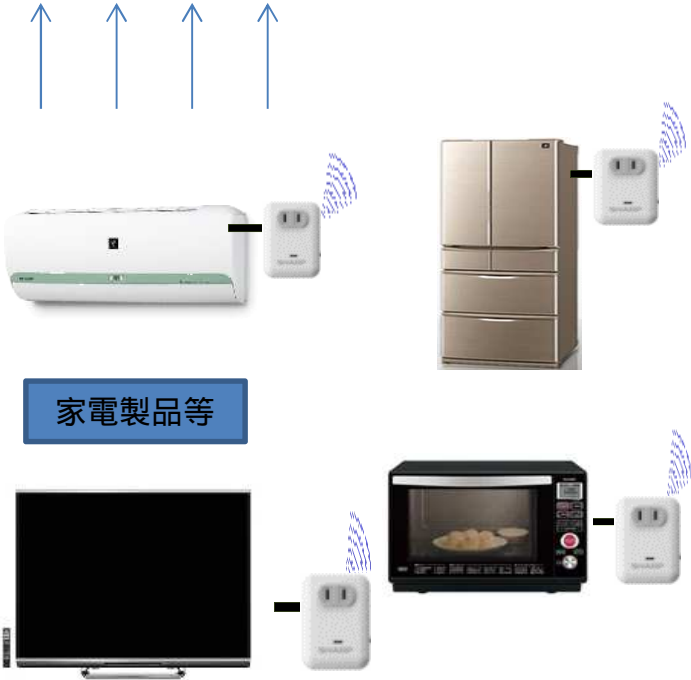
省エネアドバイス

タブレットイメージ画面

電力使用情報

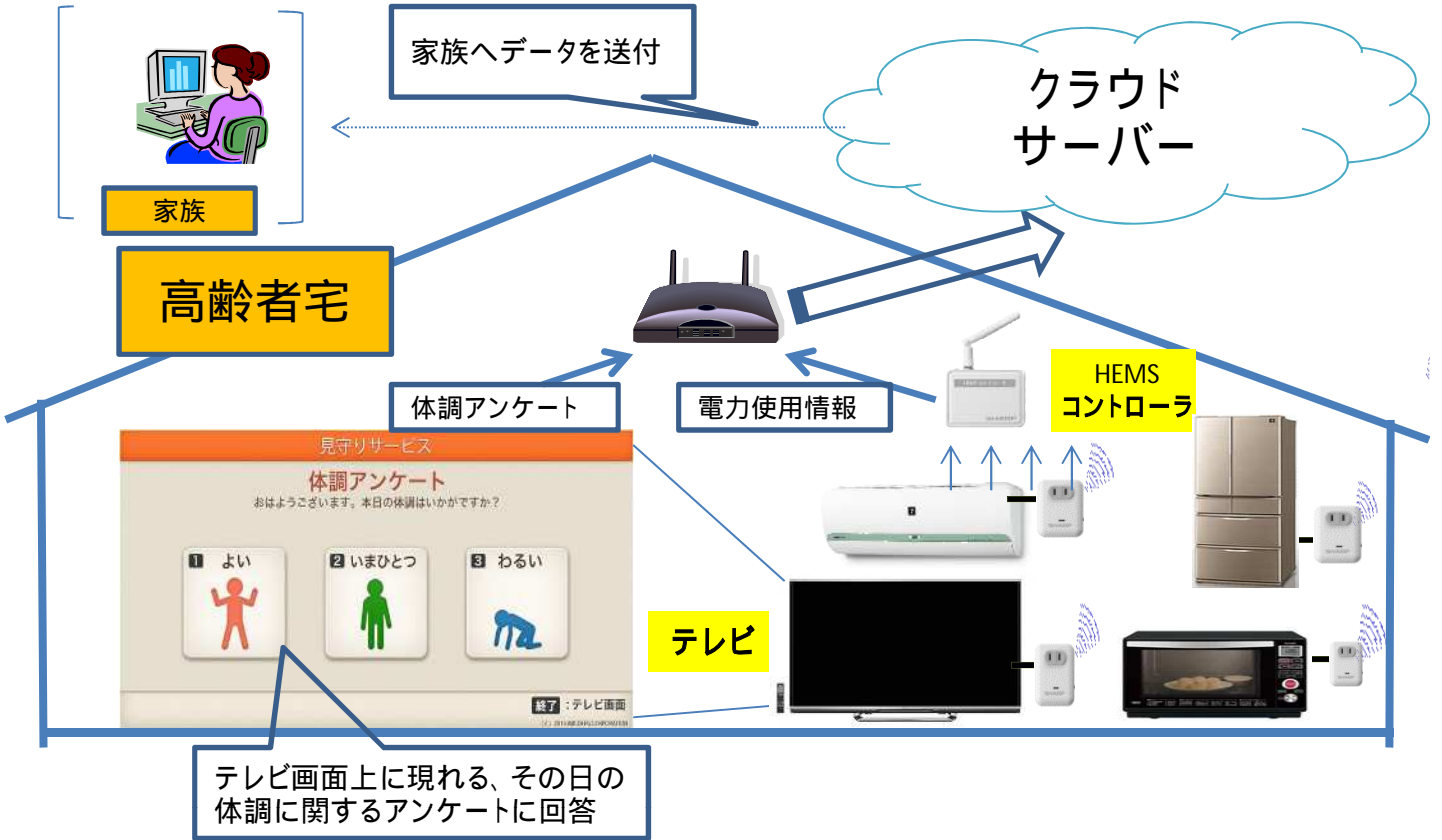
ルーター

高齢者宅



参考資料2

実証事業イメージ図【生活支援サービス(高齢者の見守り等)】



実証事業イメージ図【健康管理サービス】

